

他所に押し付けていいの？



中国電力がボーリング調査を行って適地だと言っている場所に、実際に中間貯蔵施設を作るとすると山を切り崩して平地を作らなければなりません。中国電力の島根原子力本部長は「仮に造ることになれば10数年はかかる」と島根県議会で述べています。関電のプール満杯に間に合わない可能性が高く、関電にとって本当に意味があるのか明らかでない計画で、山口県に混乱を押し付けているのです。

中国電力所有地の周辺の海域は、生物多様性条約に基づき政府が国連に登録した海洋保護区です。このような場所に使用済燃料の陸揚げのための港湾を建設したり、埋立したりすることは許されずです。



トイレなきマンションと言われてきた原発の電気を使用してきたのは関西の市民や企業。「肥溜め」にあたる使用済み核燃料中間貯蔵施設を押し付けられようとしているのは関電の電気を利用していない山口の方々。こんなことを許していいのでしょうか？

私たちも山口の方々も一方的に押し付けられている原子力推進政策の被害者ですが、私たちは加害者の片棒を担ぐのはイヤです。「上関に原子力施設はいらない兵庫の会」を結成して、これまで映画会・講演会を開いたり、祝島を訪問して現地の方と交流したりしてきました。ともに考えてみませんか？

【発行】上関に原子力施設はいらない兵庫の会
Mail: kaminoseki.hyogo@gmail.com



最新情報発信中！

2025.11

これってどういうこと？

関西から 

死の灰 6万発分の

校のゴミ

がやっつて来る

詳しくは▶ 

上関の中間貯蔵施設を考える
周防住民の会

👉 山口県内で貼られているポスター